

よるをてらすおつきさま

おいしそうなおつきみ (E 七)

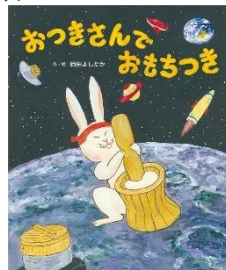
ひらた まさひろ げんあん き や ぶん
平田 昌広／原案、聞かせ屋。けいたろう／文
ひらた けい え すず きしゅっぱん
平田 景／絵 鈴木 出版

今夜はまんまるおつきさまがそらにうかぶ十五夜。“まあい まんまるい ぼんのようなつきが”というつきの歌に、「つきにはもっとにているものがあるとおもう」とかずきくんはいい、いろんなまんまるいものを歌のリズムに合わせてあげていきます。

おつきさんでおもちつき (E 八)

おかだ よしたか／作・絵 ひかりのくに

つきにいるうさぎがおもちをついてみると、「おもちつかせてー」とちきゅうからこどもがひとりやってきました。かせいから、どせいから、他のほしから、たくさんのももちがやってきて、たのしくおもちをつきます。



つきみだんご (E 八)

はまの ゆか／作 光村教育図書

おつきさまにおそなえするつきみだんごを、しゅうくんとこはるたちやんがいっしょうけんめいつくります。

のこっただんごは、みんなとたべるおやつにしたり、ばんごはんにしたり。レシピつきでつくり方もわかります。



お月さんのシャーベット (E 八)

ペク ヒナ／作、長谷川 義史／訳 ブロンズ新社

あつくてねむれないよる、あまりのあつきにおつきさまがとけてしまいます。とけたおつきさまをたらいでうけとめてかたにながしいれてシャーベットをつくらします。どんな味がするのでしょうか。



ねこまるせんせいのおつきみ (E 七)

おしかわ り さ きく わたなべ ゆういち え せかいぶんかしや
押川 理佐／作、渡辺 有一／絵 世界文化社

こざかなえんのみならいせんせいのなまえは、とらじまオレンジ・ねこまる、ねこまるせんせいとよばれています。今日はおだんごをつくっておつきみのじゅんぴをしています。おちそうになったおだんごをばくっとたべると、からだそらたかくうかびあがって、気づくと知らないまちのなかに。よぞらにうかぶあのあおいほしのなまえは…？

つきみのまつり (E 八)

はじり としかど きく せかいぶんかしや
羽尻 利門／作 世界文化社

せっかくのおつきみのひにあいにくの臺りぞら。キッカとおとうとのゲントがざんねんそうにしていると、ママがじんじやのおまつりにつれていってくれます。みひらきいっぱいえがかれた大きなおつきさまがいんしょうてきないさつです。



つきのばんにん (E 七)

ゾシエンカ／作、あべ ひろし やく しょうがつかん
小学館

つきのばんにんのシロクマのエミールは雲をおいはらったり、つきをよこぎるコウモリをちゅういしたりしています。

あるばん、エミールはつきがかけていていることに気がつきます。つきはこのままなくなってしまうのでしょうか？



おだんごダイブ (E コ)

おおつか けんた ぶん こいけ そうた え はくせんしや
大塚 健太／文、小池 壮太／絵 白泉社

もちもちのおだんごさんたちがつぎつぎにとびこんでくわわいらしい絵本です。おだんごさんのウキウキした気持ちがつたわってくるひょうじょうに、みているこちらもおもわず顔がほころびます。

さいごはたくさんのおだんごさんがいっせいにダイブして9月のていばんのおだんごに。

うさぎかぶしきがいしゃ (E 七)

ふくなが じゅんぺい／作 こぐま社

まんまるおつきさまはよるがあげると、もりのなかにしずかにちゃくりくします。ガチャ、とつきのとびらがひらくとなからうさぎがおりてきました。そらへつきをとばす“うさぎかぶしきがいしゃ”のパイロットです。

みんなが見ているおつきさまのなかにも、もしかしたらうさぎのパイロットがいるかもしれませんね。